



中部大学春日丘高校 SGH課題研究「世界の現状を知り考える学習」

世界の現状と課題 ～グローバル・イシュー…何が問題？ なぜ問題？

第4回 貿易ゲーム～人権(貧困)～ 第5回 システム思考～環境(地球温暖化)～

実施日 ◆ 日時:2018年5月19日(土) 5月22日(火) 5月29日(火)

◎貿易ゲーム

- ① 各グループに、それぞれの内容物が入った封筒を配布し、ゲームのルールを説明する。
貿易ゲームは、各グループ異なった道具や素材が与えられており、各グループで決められた製品を作る。製品を売ることでお金が得られ、できるだけ多くのお金を儲けることが目的である。

〈ルールの詳細〉

- ・各封筒に入っている文房具しか使えない。
- ・製品を世界銀行に収めると、所定の代金がもらえる。集計シートに記入され、現金での支払いはしない。
- ・製品の質次第では受け取らない場合がある。世界銀行から必要に応じて現金を借りることができる。
- ・製作に必要で自分のグループにないものは他グループから借りることができる。(貸す時はお金を取る)



貿易ゲームの様子



全体の振り返りの様子

◎貿易ゲーム・全体のふりかえり

- ①グループの区分(A=先進国、B=中進国、C=途上国)、初期条件(グループの袋の中身)の違いを知る。
- ②同じルールの下でもあらかじめ不平等な初期条件を設定することで、豊かなグループはより豊かに、貧しいグループはより貧しくなるというように、経済格差が拡大していく仕組みを理解する。
- ③貿易ゲームのような構造(貧困・格差の固定化)が続くと、どんな影響があるか、派生図で考える。
- ④「この不公平な構造」をなくすためには何が必要か、私たちには何ができるか、グループで考える。

◎地球の課題・日本の課題とそのつながり

- ① 地球の課題・日本の課題出し…各自、「地球の課題」だと思ふこと、「日本の課題」だと思ふことをそれぞれ考え、付せん紙に書き出した。
- ② KJ法による分類・整理…グループ内で、書き出した付せん紙をカード式整理法(KJ法)でまとめた。
また、各カテゴリー間のつながりや世界と日本の課題とのつながりを見つけた。



グループで話し合う生徒たち



KJ法によりまとめられた日本と地球の課題

◎地球温暖化の背景を探る～温暖化ってどんな問題？～

- ① 地球環境クイズを配布し、グループで答えを考える。その後、答えと解説。
- ② 温暖化の原因と影響に関する資料を各自読む。

◎持続不可能な現状と持続可能な未来のギャップを埋める

- ① システム思考でテーマの掘り下げ…地球温暖化問題について、システム思考を使ってグループ内で分析する。

システム思考による各問題の分析方法

【現状】…テーマに関して、どんな問題が起きているか？
何が問題となっているか？考える

【影響】…その問題を解決しないとどうなるか？多様な視点からその影響を考える

【原因】…それらの問題を作り出している原因や背景は何か探る

【解決】…問題を解決するために必要なもの、役立つことをなるべくたくさん考える

<p>現状 <リスト></p> <ul style="list-style-type: none"> • ○○○○○ • △△△△ • □□□□□ • ☆☆☆☆ 	<p><派生図> 影響</p>
<p>解決 <リスト></p> <ul style="list-style-type: none"> • □□□□□ • ○○○○○ • ☆☆☆☆ • △△△△ 	<p><因果関係図> 原因</p>

- ② 全体共有…グループで問題を分析してみてわかったことをプレゼンする。同じことの重複はさけて、いくつかのグループに付け足してもらう。



地球温暖化についてシステム思考で分析



クラス全体にプレゼン

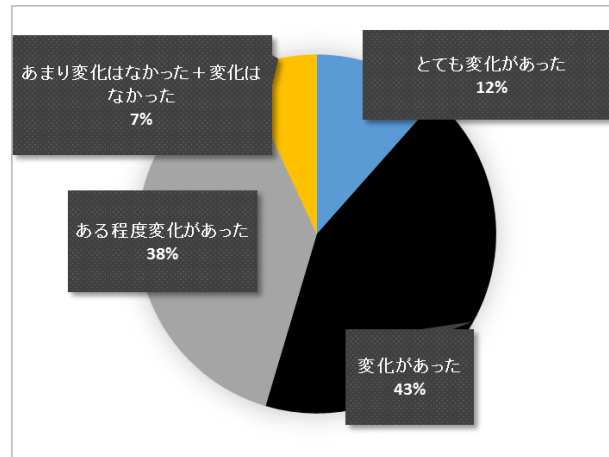
■ 「世界の現状を知り考える学習（カリキュラムA 9時限/6回）」

～全体ふりかえりアンケート結果～

● 問1：意識や行動のより良い変化の有無・程度

「カリキュラムAの授業を通して、自分の意識や行動に、より良い変化はありましたか」

◇ 全体の93%が、授業を通して自分の意識や行動に何らかのより良い変化があったと回答。

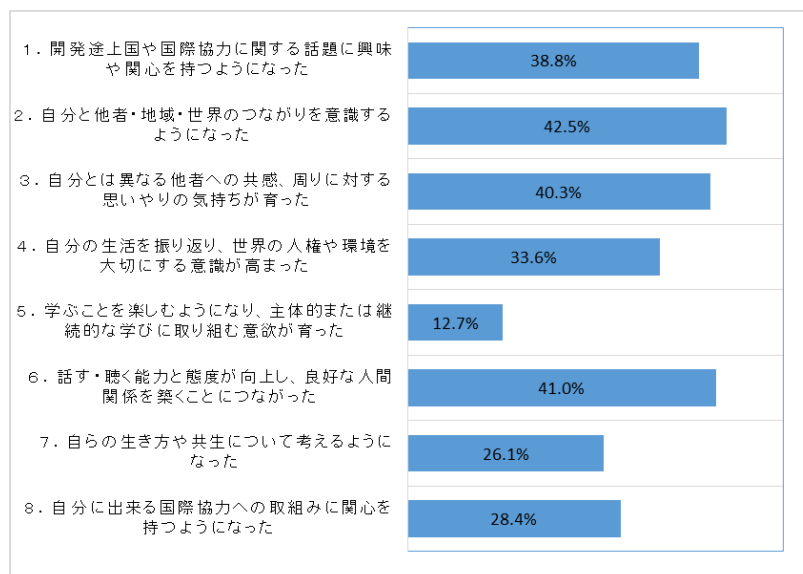


N = 132人

● 問2：より良い変化の内容 「どのようなより良い変化がありましたか。」（複数回答）

◇ 全体で40%を越えた上位3位は、「自分と世界等のつながり」(42.5%)、「話す・聞く能力と態度の向上」(41.0%)、「他者への共感・周囲へのおもいやり」(40.3%)であった。

◇ その他の各項目も概ね高い割合であったが、「主体的な学び」については12.7%と8項目の中で、低い数値となった。今後の4領域学習のあと、Cカリキュラム以降は班ごとの主体的な活動が求められるので、その時期に変化が望まれる項目である。



【より良い変化 その他回答の具体的内容】-----

● **問3**：この授業に関する意見や提案など

◇ この授業に関する意見や提案を以下、整理した。 [凡例 … ○：意見、◆：提案・指摘]

- 班替えがいつも楽しかった。また続けてほしい。
- グループワークは違う環境で育ち、違う考えを聞いてきた人と意見交換できるので良い。
- 初対面の人ばかりだと、自分の意見がうまく出せない。
- 社会問題について真剣に考えることができたので、とても良いと思いました。
- 世界の現状や問題について、ひとつの国について深く学んでみたいと思った。
- 派生図を使つての学習は、相手の意見が知れて、しかもそこから内容を発展・関連させることができるのでとてもいいと思います。
- 貿易ゲームや他の班の意見を聞くことで、客観的に考えることができた。
- 自分の今の生活がどれだけ楽で便利かを思い知らされました。
- 最初は自分の周りや日本事しか考えていなかったけど、世界について考えることが多くなった。
- 今まで自分の中では他人事だと考えがちであった問題が身近に感じられるようになった。
- つながりを大事にする学習だった。
- ずっと受け身でうけている普通の授業とは違って積極的に取り組まないと成立しない授業だったので、少し難しかったけどいい経験になりました。
- 貧困や温暖化など特定の問題についてもっと深掘りをしたい。
- 問題を知るだけでなく、その原因などを知ること大切だと思った。

- ◆模造紙がもったいないと思った。
- ◆ひとつのテーマについて話し合う時間がもっとほしい。
- ◆2つのグループでディベートをしたら、グローバルコンピテンシーの「批判的・論理的思考力」が伸びるのでは？
- ◆国際・啓明以外のコースも一緒になってやってみてもいいのでは？
- ◆グループの変更を教室内だけでなくもっと広げてみては？
- ◆どんな意見も間違っていないということだったので「え～」と言われてしまうこともあった。
- ◆動画をつかってより分かりやすくしてみては？
- ◆もっと世界の問題は深刻と言うことを訴えるべきだ。
- ◆全員の意見を聞くために、班の人数はできる限り少ない方がよい。
- ◆普通の授業でももっとグループワークを増やしてほしい。